

岩手県感染症週報

平成15年第32週（8月4日～8月10日）

岩手県結核 感染症情報センター

第32週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

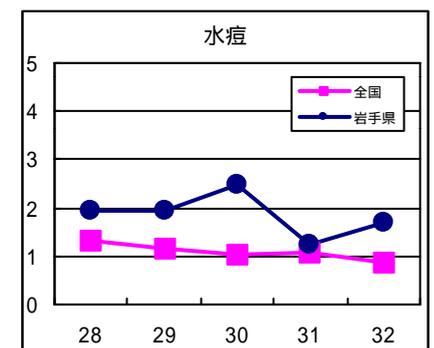
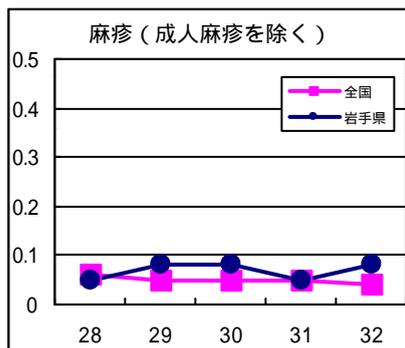
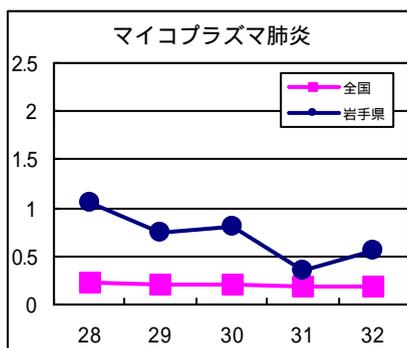
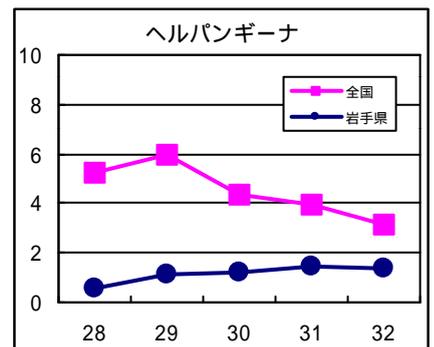
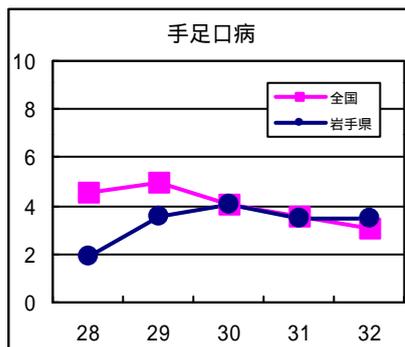
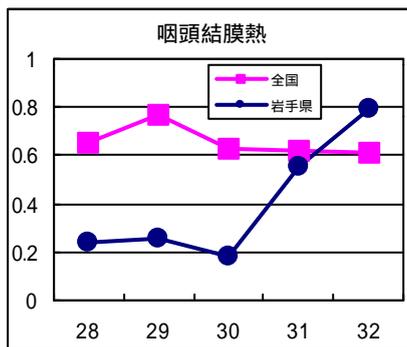
- ・腸管出血性大腸菌O26による感染が3例（花巻、水沢、一関地区）、O111による感染1例（北上地区）ありました。いずれも散発事例とみられ、家族内感染が確認されています。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・咽頭結膜熱は前週まで患者数の多かった盛岡地区に加え、北上、水沢地区でも患者数は増加し、警報値（定点あたり患者数 1.0）を超えました。環境保健研究センターの病原体検査では、アデノウイルス1型と3型が検出されています。
- ・手足口病は北上、水沢地区で患者数の多い状態が続いています。
- ・ヘルパンギーナは前週まで患者数の多かった二戸地区でこの週には減少しました。大船渡地区で増加傾向にあります。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		28	29	30	31	32	
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	岩手県	0.24	0.26	0.18	0.55	0.79	↗
	全国	0.65	0.77	0.63	0.62	0.61	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.63	0.68	0.55	0.37	0.39	→
	全国	1.16	0.99	0.76	0.68	0.5	
感染性胃腸炎	岩手県	1.76	1.63	1.47	1.29	1.11	→
	全国	2.98	2.81	2.32	2.38	2.12	
水痘	岩手県	1.95	1.95	2.47	1.24	1.71	→
	全国	1.32	1.17	1.04	1.08	0.87	
手足口病	岩手県	1.92	3.58	4.03	3.5	3.45	→
	全国	4.55	4.98	4.07	3.59	3.07	
伝染性紅斑	岩手県	0.16	0.18	0.13	0.11	0.05	→
	全国	0.35	0.27	0.25	0.29	0.24	
突発性発疹	岩手県	0.68	0.53	0.84	0.63	0.71	→
	全国	0.87	0.84	0.76	0.85	0.82	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0.03	→
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0.03	→
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.53	1.13	1.18	1.47	1.34	→
	全国	5.28	5.97	4.36	3.96	3.17	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0.08	0.08	0.05	0.08	→
	全国	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.45	0.89	1.05	0.55	0.55	→
	全国	0.69	0.66	0.6	0.62	0.53	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.05	0.04	0.03	0.04	0.04	
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	1.58	1.25	1.08	0.58	↘
	全国	1.2	1.21	1.11	1.25	1.23	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→
	全国	0.21	0.23	0.16	0.2	0.18	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.05	0.75	0.8	0.35	0.55	→
	全国	0.22	0.2	0.21	0.19	0.18	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01	
成人麻疹	岩手県	0.05	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.04	0.01	0.01	0	

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

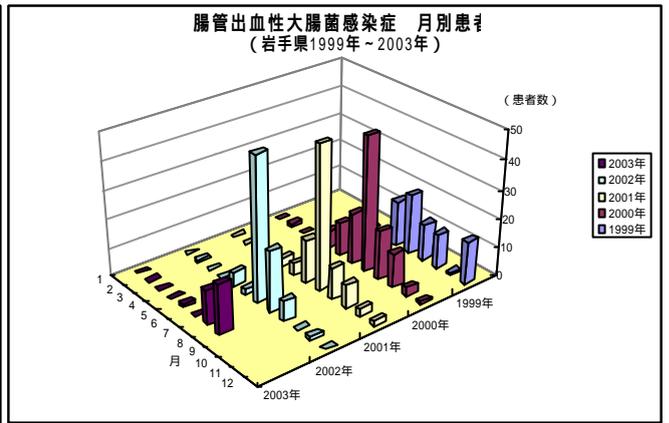
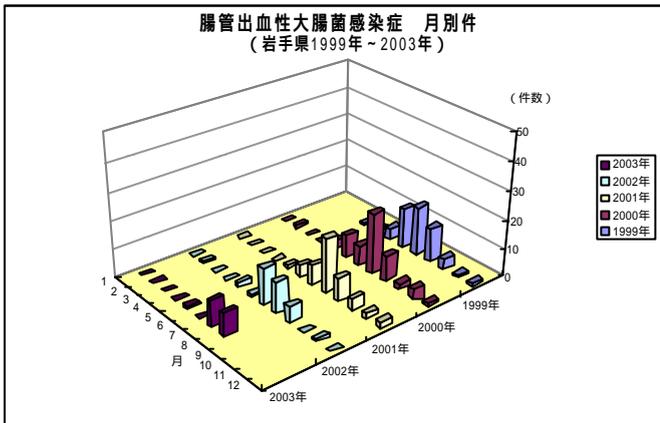
分類	疾病名	岩手県					全国		
		28	29	30	31	32	累計	32	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	9
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	8	19	258
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	35
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	21
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	3	0	4	17	66	1189
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	6	309
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	12
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	33
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	1	0	0	10	4	491
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	6
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	73
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	38
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	10	522
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	64
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	12
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	1	0	0	5	1	134
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	21
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	19
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	1	0	0	2	2	304
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	40
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	42
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	1	47	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	4	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	79	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症が県内各地で頻発しています。県保健衛生課にはいった報告によると、8/4からこれまでに、O157による感染事例が1件（盛岡地区）、O26が5件（盛岡、花巻、水沢、一関、釜石地区）、O111が2件（北上、宮古地区）発生し、あわせて17名が感染していることがわかりました。感染経路はそれぞれの保健所で調査中ですが、ほとんどが散発事例で家族内感染にとどまっています。初発の患者はいずれも10歳以下の子供で、腹痛、下痢、血便などの症状で医療機関を受診し、感染が確認されています。患者家族を調査したところ、成人では感染しても症状が軽いか、無症状であることが多いようです。

感染の予防には、一般的な細菌性食中毒予防の三原則（菌をつけない、増やさない、殺菌する）が有効です。十分に手を洗う、調理器具などを消毒する、食品はよく加熱するなど、今の季節では厳重な注意が必要です。

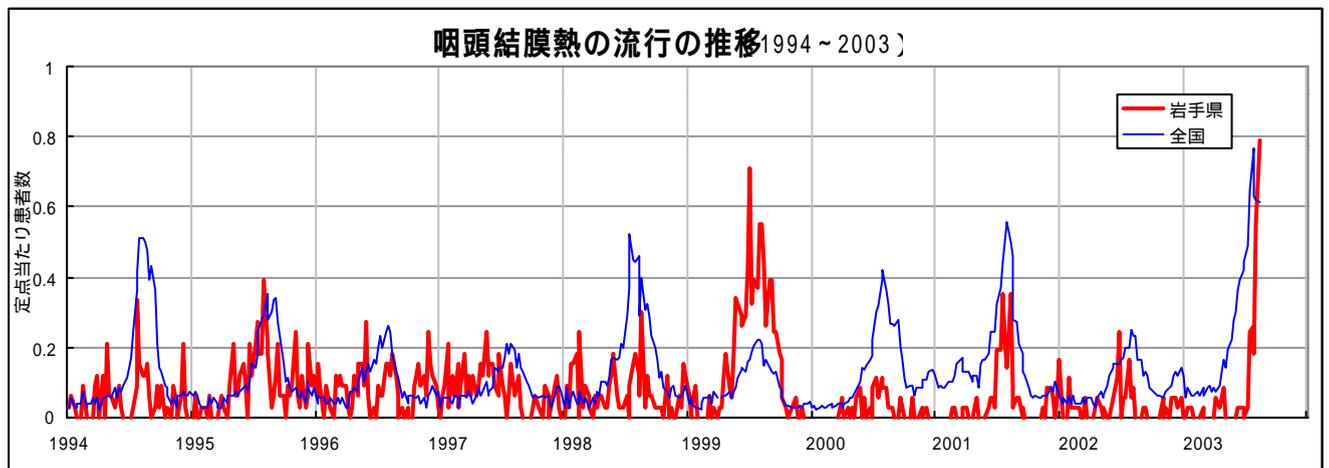


咽頭結膜熱

咽頭結膜熱がここ10年で最大の流行となっています。本県では28週頃から患者数が増え始め、盛岡、花巻、北上、水沢の県央部を中心に流行が広がっています。32週の定点当たり患者数は0.79と過去10年間の最高値となりました。

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性疾患で、プールでの感染もみられることからプール熱とも呼ばれます。病原体はアデノウイルスで、環境保健研究センターの病原体検査では患者の咽頭拭い液からアデノウイルス1型と3型が検出されています。

感染は主に飛沫や接触により成立するので、感染の予防には感染者との濃厚な接触を避けることが大切です。また、流行時にはうがいや手指の消毒の励行、プールでは目をよく洗う、タオルを共用しないことなどが大切です。



病原体検出情報

- ・咽頭結膜熱の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・肝機能障害の患者（発熱、紅斑）の咽頭拭い液からエコーウイルス9型を1例分離検出しました。
- ・急性扁桃腺炎の患者の咽頭拭い液から単純ヘルペスウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の髄液からムンプスウイルスを1例分離検出しました。

集団感染情報

- ・この週には集団感染の情報はありません。

医療機関からの情報

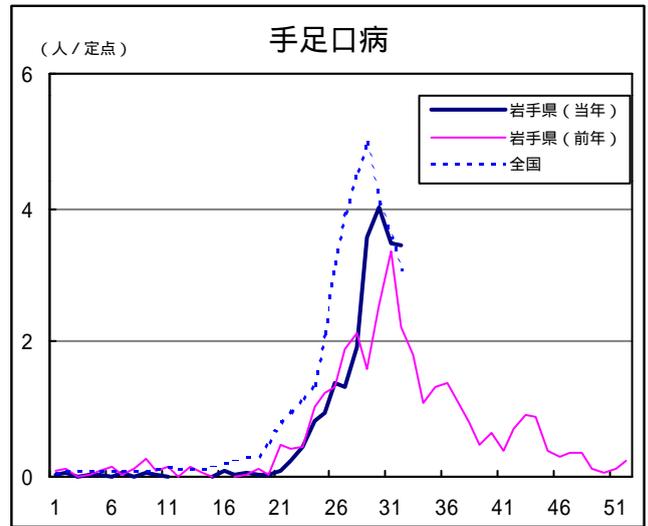
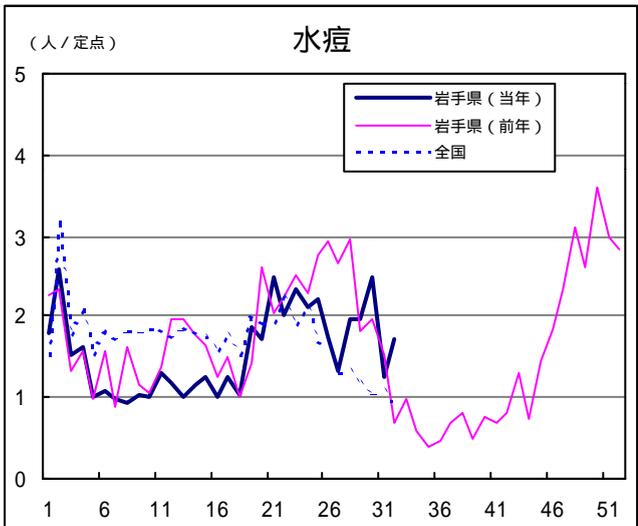
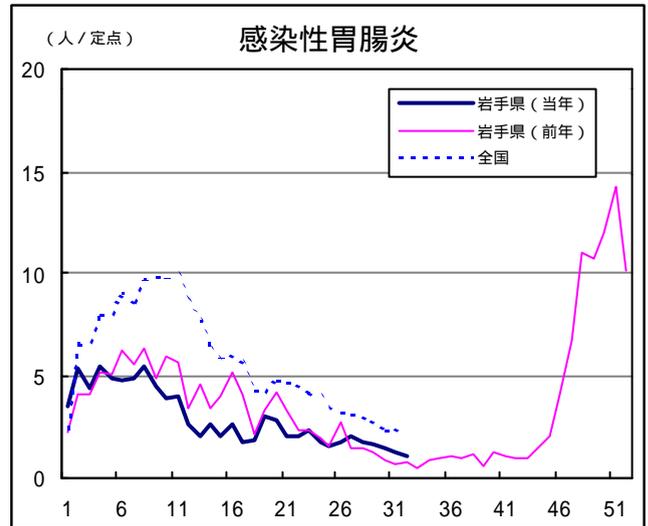
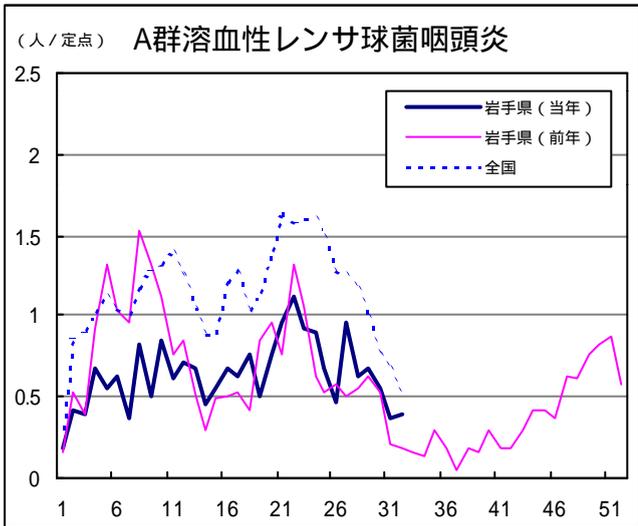
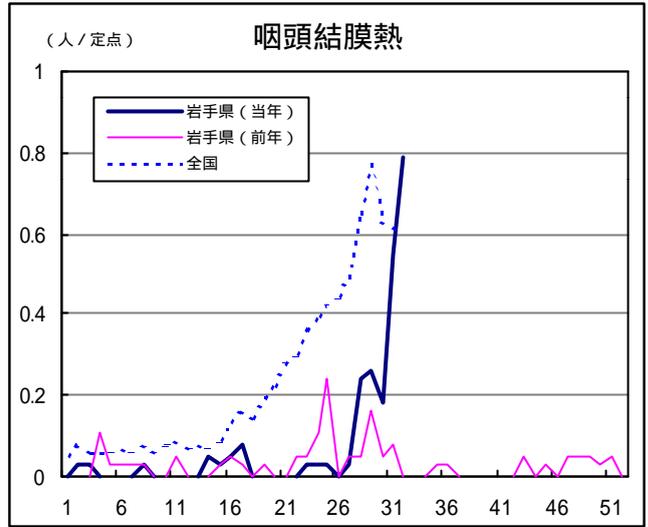
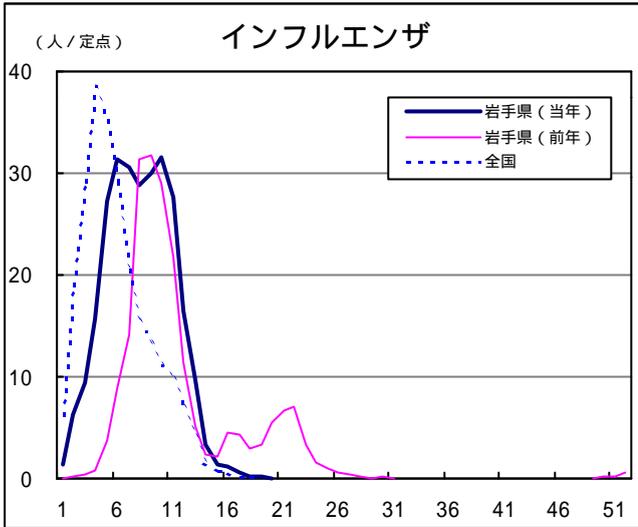
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

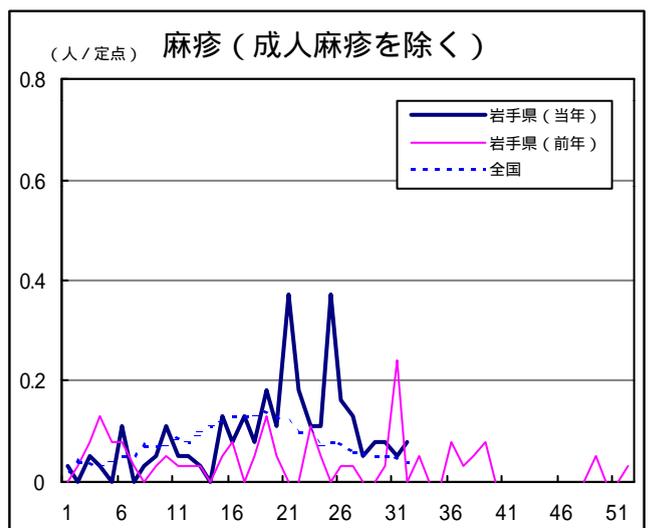
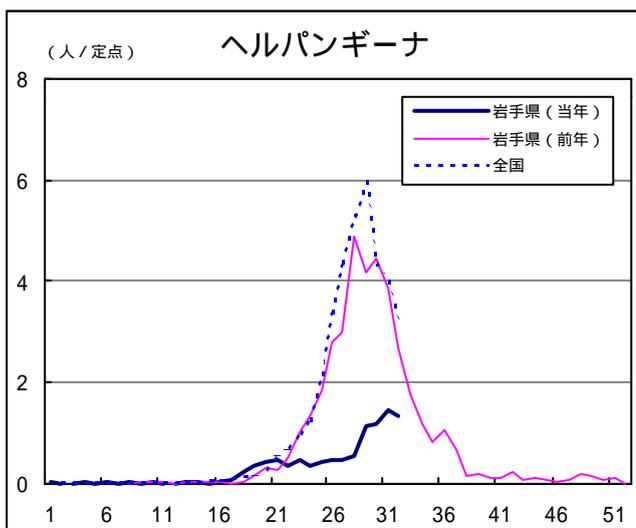
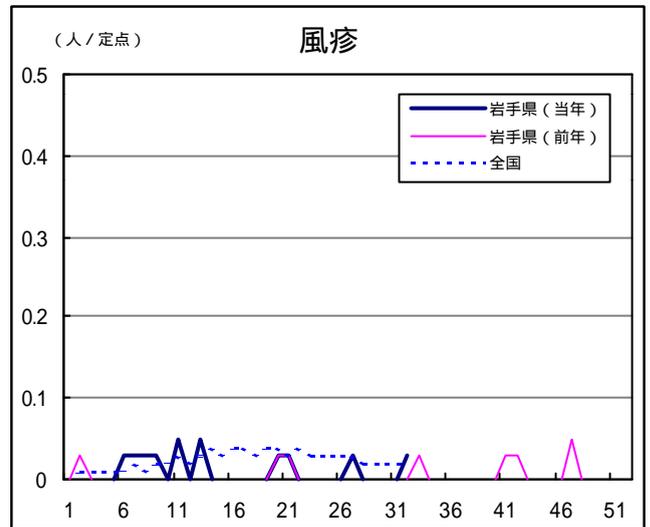
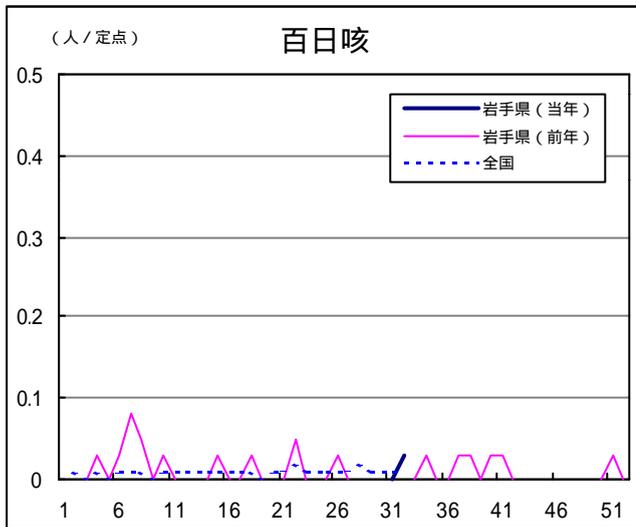
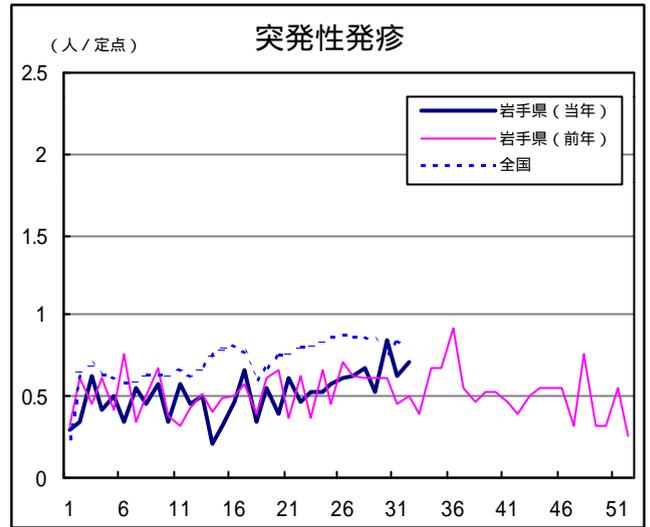
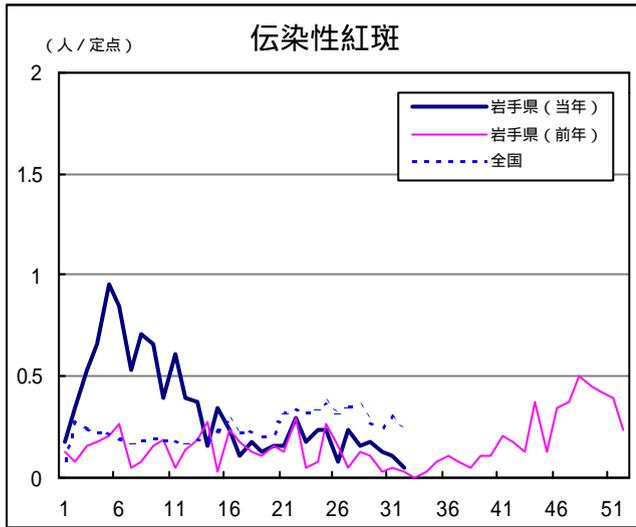
Q & A

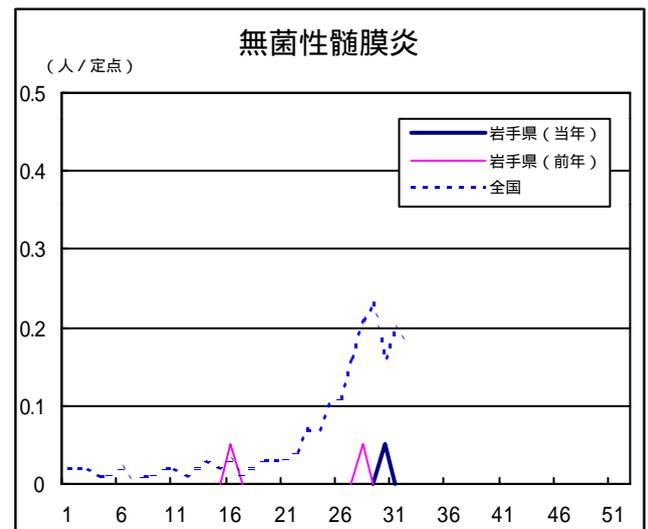
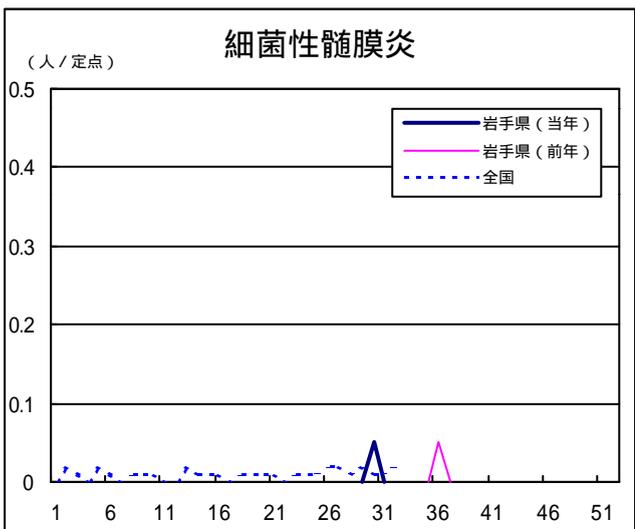
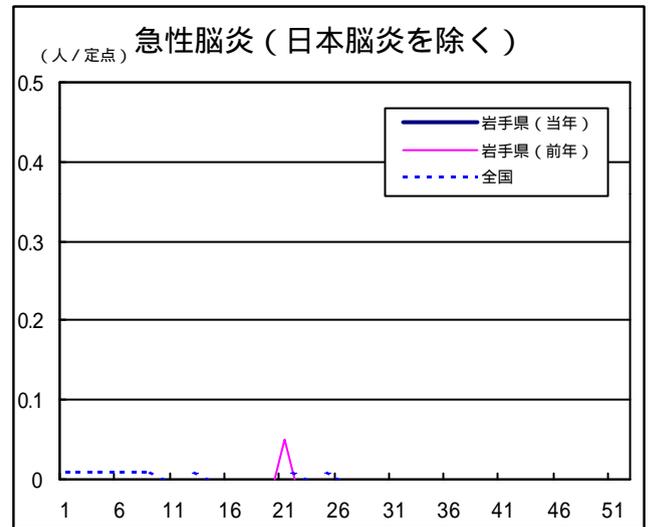
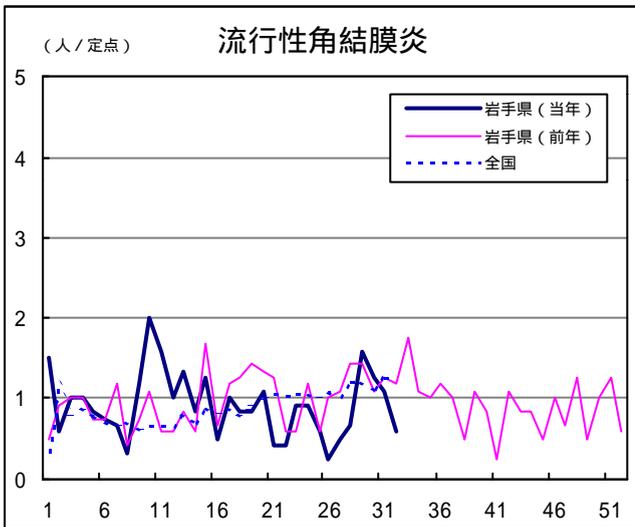
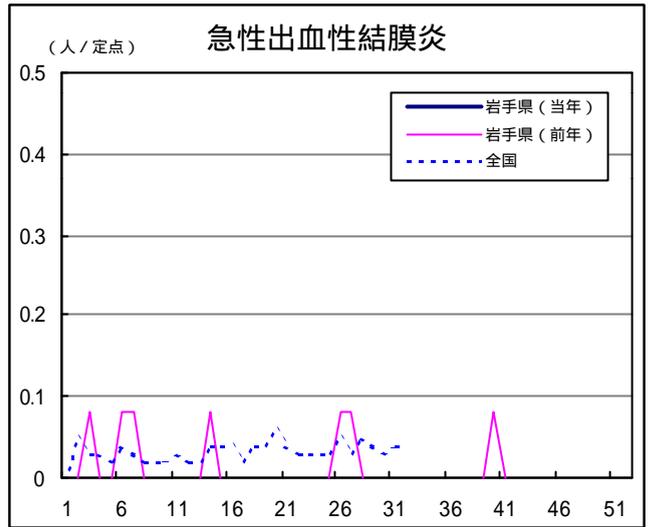
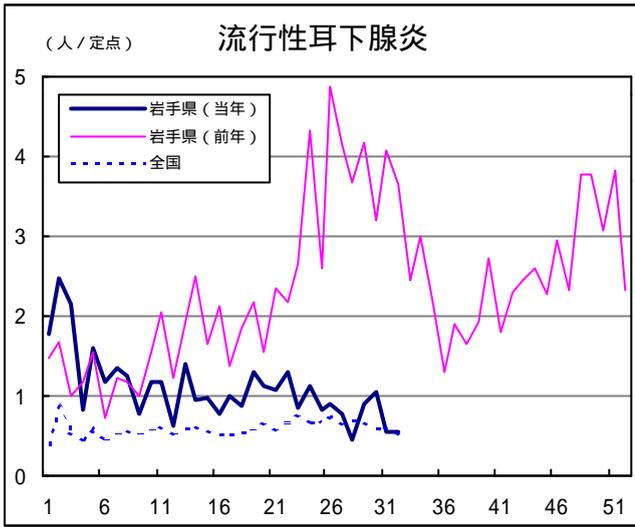
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

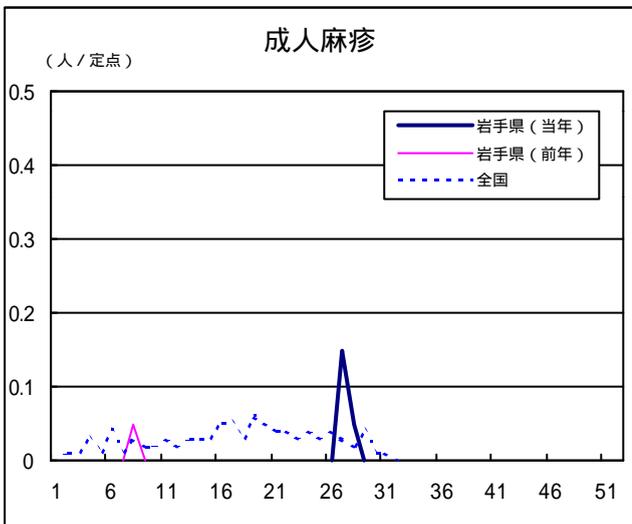
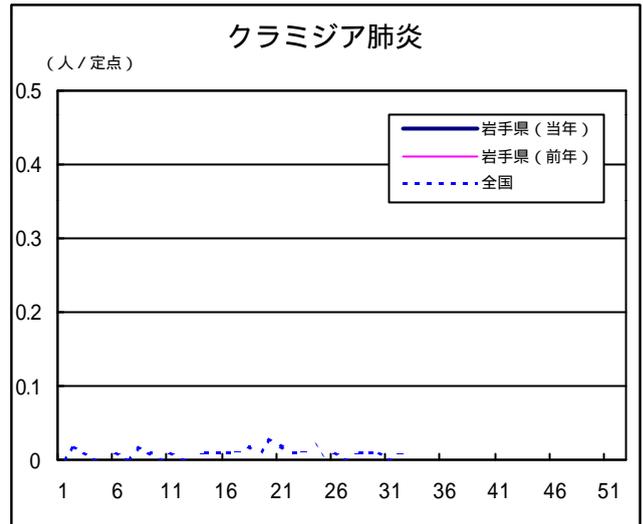
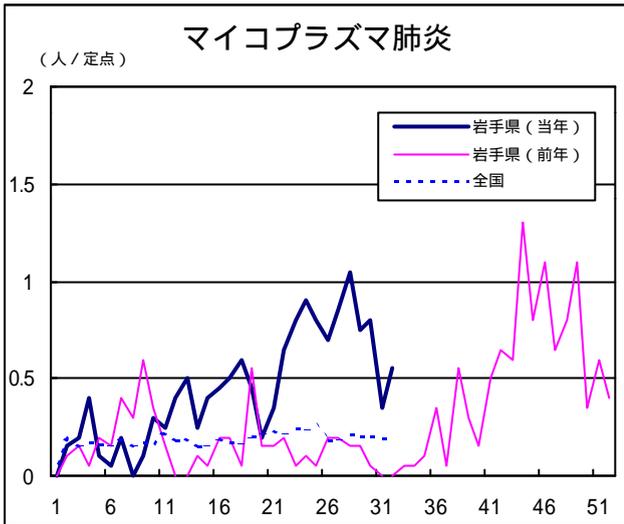
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第32週 平成15年8月15日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>